

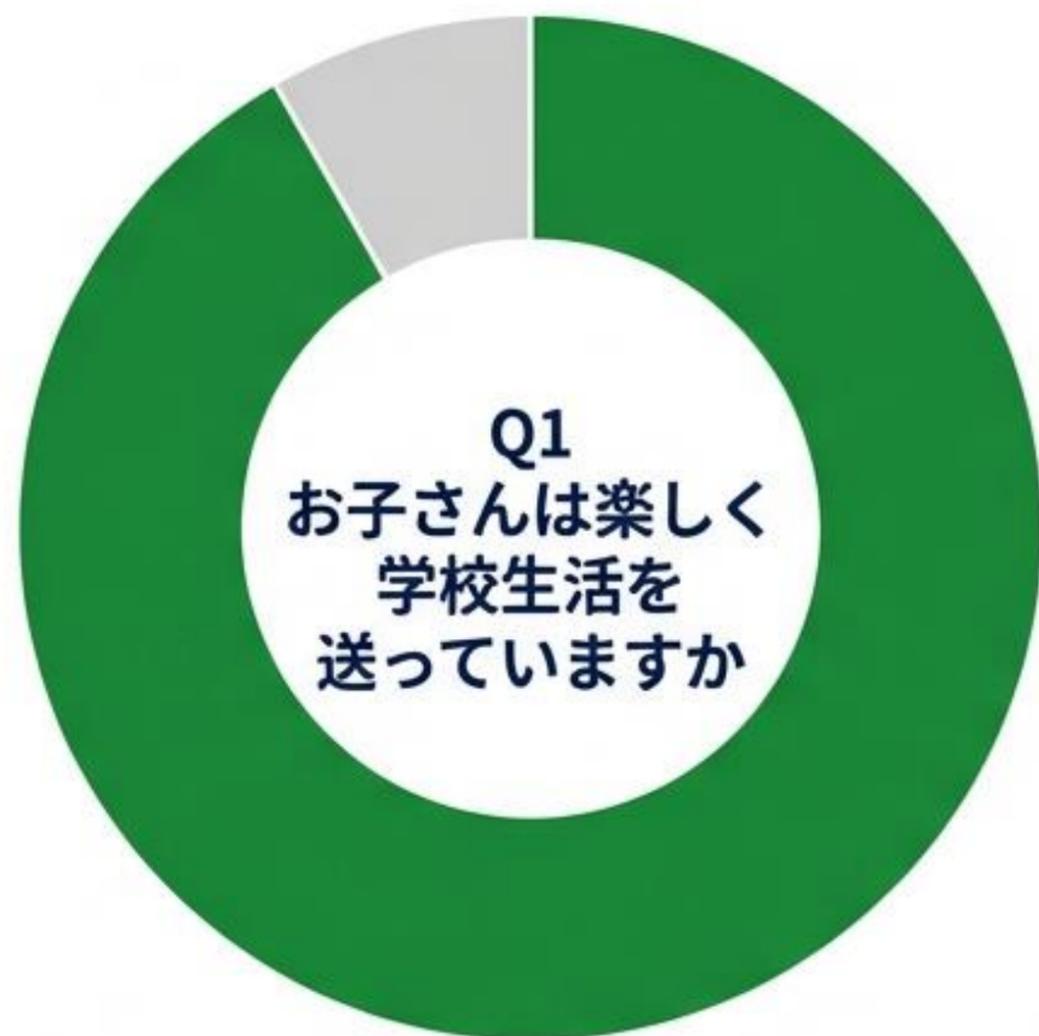


令和7年度 大津二小学校 保護者評価アンケート結果報告

家庭と学校が連携し、子どもたちのより良い未来を創るための現状分析と今後の展望

- 対象：大津二小学校 保護者
- 目的：令和7年度（2025年）学校運営・教育活動の振り返りと課題抽出
- 構成：全26設問（選択式・記述式）の総合ダッシュボード

児童の大半が、充実した学校生活と良好な友人関係を構築 [Q1, Q16]



学校生活への高い満足度



良好な対人関係の構築

保護者の目から見ても、子どもたちの基盤となる「学校への安心感」と「友人との繋がり」は非常に健全な状態にあります。

保護者が学校教育に求める4つの重点項目 [Q2]



1. 楽しく過ごしてほしい
2. 基本的な知識を身に付けてほしい
3. 多様な考え方や意見があることを理解してほしい
4. 物事を論理的に考え、自分の考えを表現する力



「楽しさ」と「基礎学力」を大前提としつつ、これからの時代を生き抜くための「多様性の理解」と「論理的表現力」への期待が強く表れています。

基礎学力は定着傾向、論理的表現力には成長の余地 [Q6, Q7]

Q6

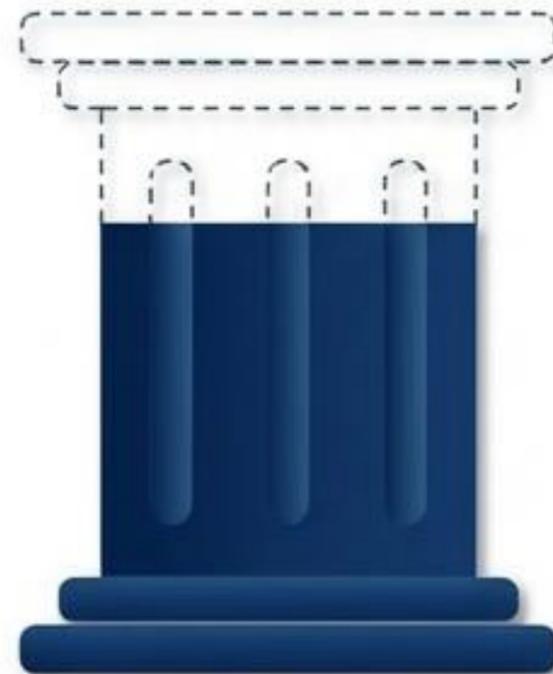
基礎的な学習内容の理解



肯定的な回答が多数を占め、
日々の学習の定着が見られます。

Q7

根拠をもった説明能力

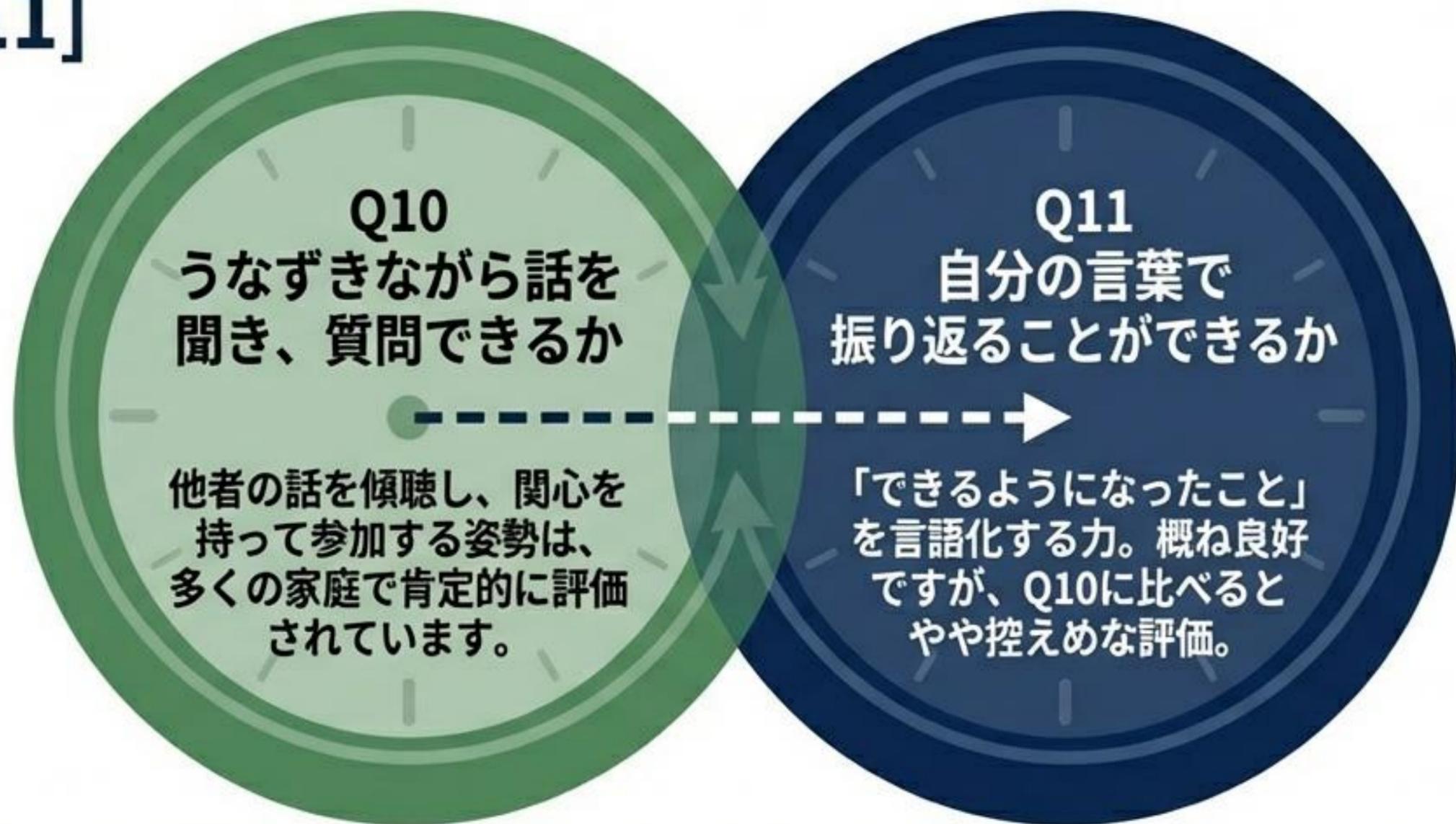


「どちらかといえばそう思わない」
の層がQ6と比較して微増。



今後の学習課題：インプット（理解）から、
アウトプット（論理的な表現）へのステップアップ強化。

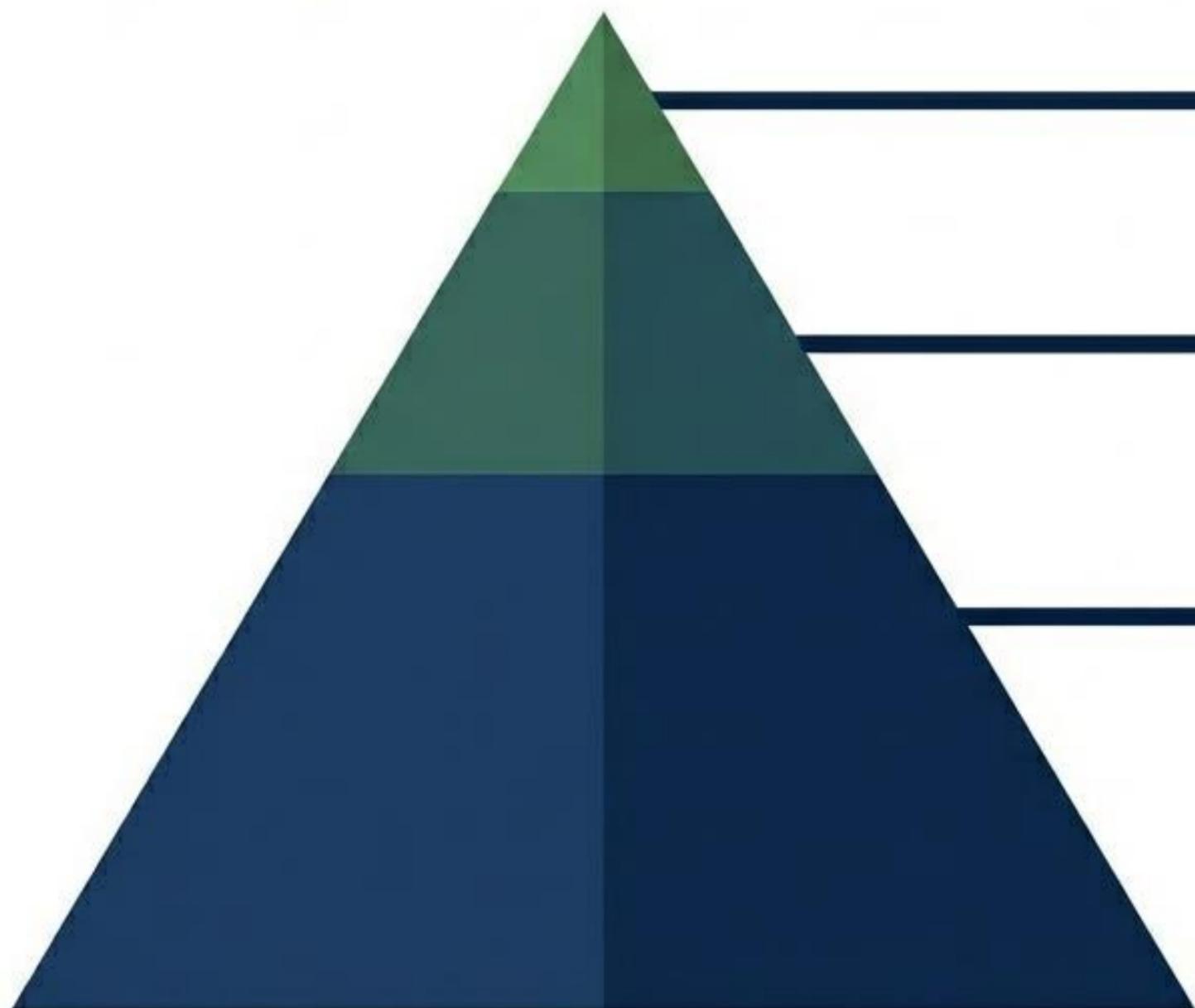
クラスでの主体的な傾聴姿勢と、自己内省力の現状 [Q10, Q11]



メタ認知能力（自らの学習を振り返る力）の育成が、Q7の「論理的表現力」の向上にも直結します。

家庭学習のリアル：声かけによる実施から自走への壁

[Q8, Q9, Q12]



「自分の興味関心のあることを調べたり勉強したりしている」自立層も一定数。



「宿題があれば、進んで取り組んでいる」層との二極化。



Q12 家庭学習の状況内訳
「親が促すと宿題に取り組む」層が多数存在。

日々の読書習慣（Q8）と家庭での主体的な学習（Q9）には相関が見られ、宿題以外のプラスアルファの学習習慣づけが課題です。

豊かな人間性の育成：思いやりとコミュニケーション

[Q13, Q15, Q17]



Q13 自分の気持ちを相手に伝える

自分の感情を適切に他者へ発信する力。



Q15 周囲が困っている時の手助け

高い利他性と共感性。多くの児童が実践できていると評価。



Q17 自分からの進んでの挨拶

家庭、地域、学校での基本的なコミュニケーションの第一歩。非常に高く評価されています。

知識だけでなく「心の教育」がしっかりと根付いており、Q2で求められた「多様性の理解」の基盤が形成されています。

基本的な生活習慣と、安心・安全な日々の土台

[Q21, Q23, Q24]



Q21 安全を意識した登下校

交通ルールや防犯を意識した登下校の実施。概ね良好。



Q23 健康・衛生を意識した行動

運動や手洗い等の衛生管理が日常の行動として定着。



Q24 夜10時（低学年9時）までの就寝

学習の質を支える睡眠習慣。大半の家庭で適切な就寝時間が守られています。

家庭での役割を通じた自立心と自己管理能力の醸成 [Q18, Q19, Q20, Q22]



Q18 自分のことを自分でできる

身の回りの自立。発達段階に応じた高い達成度。



Q19 身だしなみと整理整頓

自己管理の基礎。一定のサポートが必要な家庭も見受けられます。



Q22 家庭の仕事（お手伝い）

家族の一員としての役割認識。



Q20 何事にもねばり強く取り組む

レジリエンス（回復力）。学習や生活全般の困難に立ち向かう力として、今後さらに伸ばしたい領域。

学校からの情報発信と、ICT・相談対応の評価

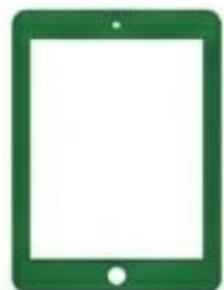
[Q3, Q4, Q14]

Q3 学校だより・HPでの情報発信

 迅速性



学校全体の動きの見える化。肯定的な評価が多い一方で、後述の「迅速性」に課題あり。



Q4 タブレット端末の活用



授業や家庭学習でのICT機器の積極的な導入が評価されています。

Q14 相談・問い合わせへの適切な対応



個別の事案に対する学校側の誠実な対応姿勢は、多くの保護者から信頼を得ています。

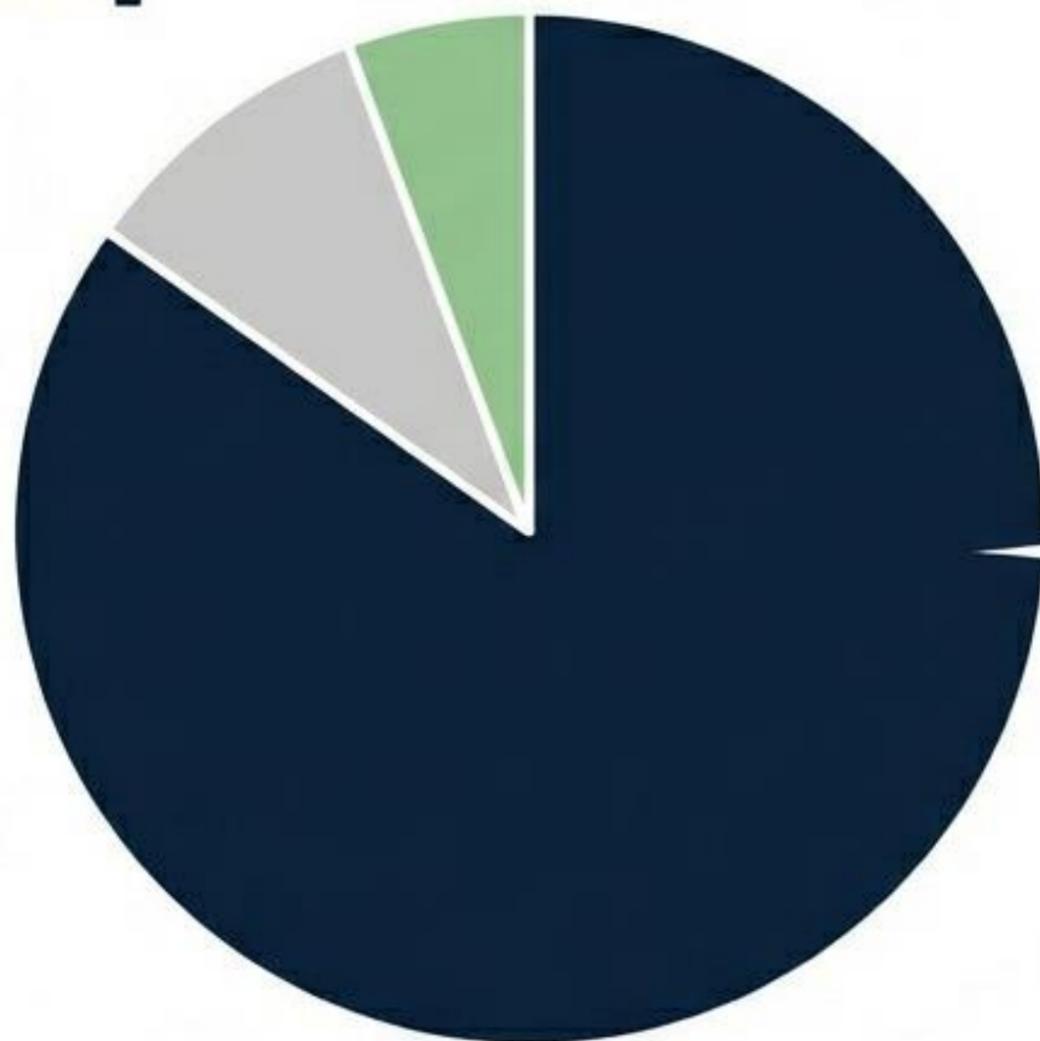
学校行事に対する全体評価と、個別最適化への過渡期 [Q5]



授業参観や保護者面談など、学校行事の実施状況に対する全体的な評価は「適切に行われている(そう思う/どちらかといえばそう思う)」が大半。

全体の満足度は高いものの、自由記述(次スライド以降)からは、「共働き家庭への配慮」「競技性の担保」「事前の周知スピード」など、現代の家庭環境に合わせた行事のアップデートを求める声が顕在化しています。

通知表のあり方：保護者の圧倒的多数が「所見（コメント）あり」を支持 [Q25]



- 圧倒的多数：「総合所見（コメント）あり（昨年度同様）が良い」
- 少数派：「総合所見（コメント）なしで、全員個人面談の実施が良い」
- その他：「どちらでもよい」

「通知表に記載があると後から読み返したり、家族と一緒に振り返ることができる」

「先生の負担は重々承知しているが、文字で残る記録を大切にしたい」

面談等の直接対話の価値を認めつつも、記録として残る「担任からのコメント」が、家庭学習の動機付けとして強く求められています。



令和7年度 保護者アンケートへのご協力、心より感謝申し上げます。

日々の仕事や子育てでご多忙の中、貴重なご意見をお寄せいただき、
誠にありがとうございました。

 **【感謝】** たくさんの「声」を
ありがとうございました

お寄せいただいたすべてのご意見・
ご要望は、私たち大津二小にとって
かけがえのない財産です。

 **【約束】** 子どもたちの
より良い未来のために

いただいた声を真摯に受け止め、
日々の学校運営や教育活動の改善
へと確実につなげてまいります。

 **【共創】** 家庭と学校の
連携をこれからも

学校とご家庭が手を取り合い、子ど
もたちの成長を支えるパートナーとし
て歩んでいきたいと願っております。

家庭と学校が連携し、子どもたちのより良い未来を創るために。
大津二小は、保護者の皆様と共に歩み続けます。

大津二小学校 教職員一同